

スリープテックを活用した Well-Being経営推進支援サービス

インパクトロジックモデルにより施策効果と経営効果を可視化することで、従業員の睡眠改善やメンタルヘルス向上等、Well-Being経営に資する取組みを支援

OECDの調査によると日本人の睡眠時間は加盟国30カ国で最下位であり、睡眠不足による経済損失を考慮すると「睡眠」は、日本社会全体、個々の企業経営における共通課題となりました。

この背景から、睡眠データのトラッキング技術や機械学習による高度な分析技術の向上と共に、従業員の睡眠改善を狙ったスリープテックを導入し、Well-Being経営に生かす取組みが展開されています。

一方、施策の導入においてサービス効果の妥当性や投資対効果を検証することが難しく、スリープテックの導入やWell-Being経営の推進が進まないケースが散見されます。

アビームコンサルティングは、従業員のコンディションとパフォーマンスの関連性の可視化、スリープテックを活用した従業員の睡眠モニタリングなどの施策で培った知見・ノウハウと、データアナリティクスを活用した経営指標への価値換算/施策効果の評価技術を掛け合わせ、スリープテックを活用した顧客企業のWell-Being経営推進をご支援します。

企業のHR部門においてWell-Being施策が定着しない3つの要因

HR部門におけるWell-Being施策が定着しない主な3つの要因は、「Well-Being経営に向けた構想・計画が定まっておらず、具体的施策が立てられない」「施策推進・改善における定量的な評価手法・ロジックが確立できず、施策実施に至らない。」「施策に対するROIが定量的に評価できず、施策への投資が続かない」であると考えられます。Well-Being施策定着の実現には、従業員に対する各施策とその導入効果や経営効果をロジックモデルで結び付け、各施策を定量的に評価・改善し、Well-Being施策が一時的なものではなく、持続的な施策にすることが求められます。

Well-Being経営に向けた
構想・計画が定まっておらず、
具体的施策が立てられない。



施策推進・改善における
定量的な評価手法・ロジックが
確立できず、施策実施に至らない。



施策に対するROIが
定量的に評価できず、
施策への投資が続かない。



スリープテック定着モデルを活用したWell-Being経営推進支援サービス概要

アビームコンサルティングは、上記3つの要因を払しょくし、“効果ある施策が社内に定着される”状態を実現すべく、Well-Being施策が継続的に改善される定着モデルを構築します。①従業員がサービスを高く評価し、サービス利用が促進・定着化している状態、②担当者が分析結果を把握し、推進施策をマネジメントできている状態、③経営層がWell-Being施策のビジネスインパクトを定量的に評価できている状態を、企業内部に構築することで、効果ある施策が社内に定着し、従業員の働きがいを高めながら経営効果を発揮するWell-Being経営の実現を支援します。

1 Employee Experience

「従業員」がサービスを高く評価し、サービス利用が促進・定着化している。

- 最適施策の設計と導入・利用促進
- 実績のある睡眠改善サービスの提供

2 Data Visualization

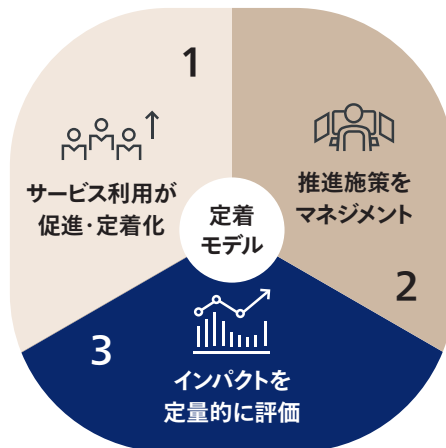
「担当者」が分析結果を把握し、推進施策をマネジメントできている。

- 膨大なユーザーデータの収集・管理・分析
- ダッシュボードによる分析結果の開示

3 Impact Evaluation

「経営層」が施策のビジネスインパクトを定量的に評価できている。

- 独自ロジックモデルによるシミュレーション
- 施策効果の経営価値への換算



アビームコンサルティングの3つの強み

アビームコンサルティングは、データアナリティクスやAIプラットフォームによる収集データの分析・ダッシュボード化技術、社内実証実験で培った従業員の睡眠改善を経営価値に換算するインパクト測定・評価技術を掛け合わせ、スリープテックを活用した睡眠改善プログラムの提供、施策評価、アクションプランの立案に至る一貫通貫したサービス提供により、企業のWell-Being経営を実現します。

施策効果と経営効果を可視化するインパクトフレームの活用

- 従業員の睡眠改善が経営活動に与える効果を試算するロジックモデルを基に、施策導入時の投資対効果の予測値（インパクトシミュレーション）算出を支援します。
- 上記予測値と施策実績値より、施策評価及び、実際の経営効果算出を支援します。

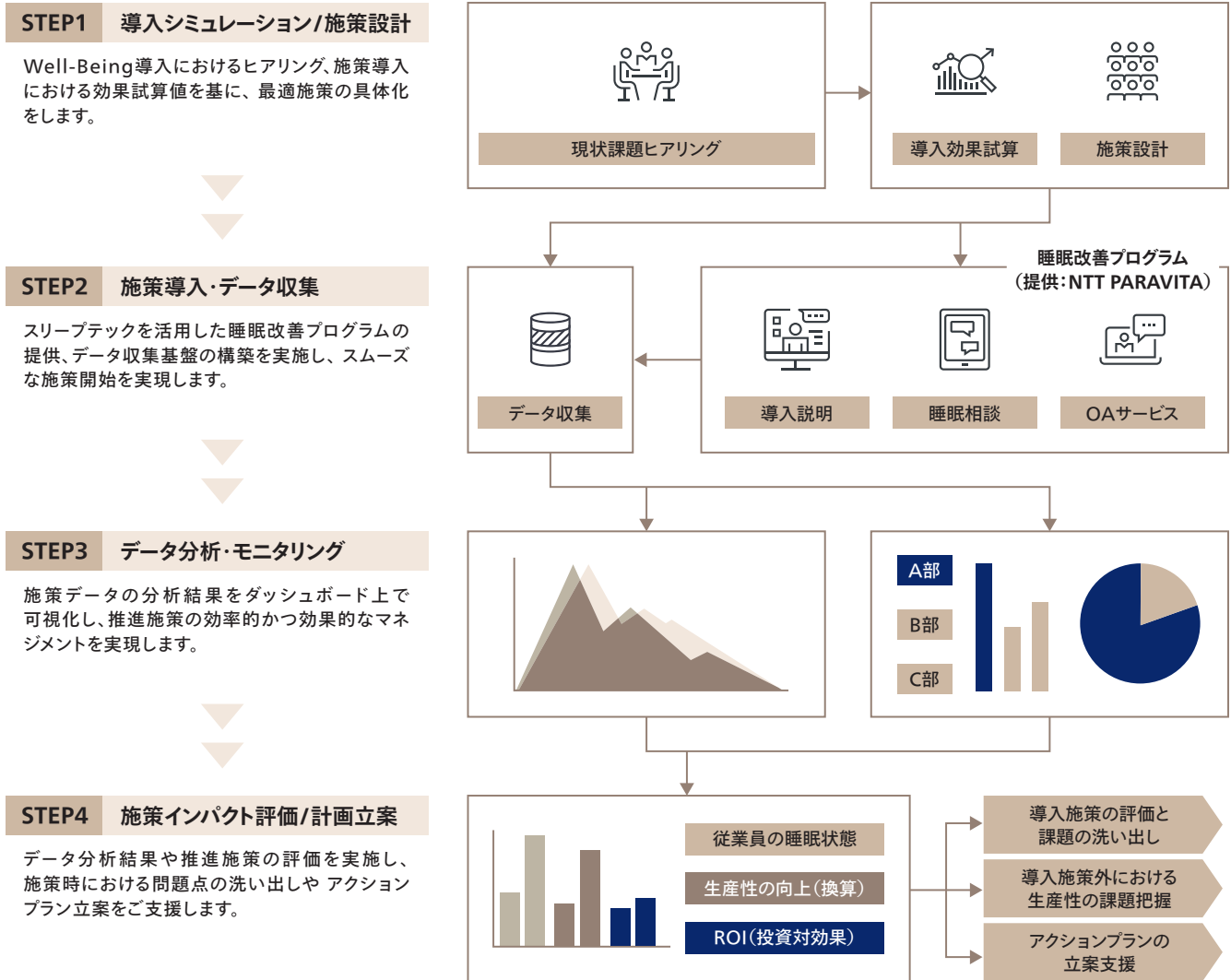
スリープテックを活用した睡眠改善プログラムの提供

- 施策導入効果の試算、人事課題を基に、NTT PARAVITA社の提供サービスを活用したスリープテック施策の設計を支援します。
- 導入時に生じる間接業務（導入説明、参加者募集）も含めたワンストップなスリープテックサービス導入を支援します。

データアナリティクス基盤による分析/評価と可視化

- トラッキングデバイスやアンケートによる膨大なデータを管理し、睡眠改善状況やパフォーマンス、経営効果の分析を支援します。
- 施策評価に求められる分析結果をダッシュボードにリアルタイムで可視化し、スピーディな施策評価を支援します。

スリープテックを活用したWell-Being経営施策の支援内容



スリープテックの導入実績と効果

#	導入事業者	売上/従業員規模(連結)	施策内容	労働生産性インパクト試算*
1	大手通信事業者	1兆5000億円/360百人	1000人/4か月 睡眠データ取得/ 睡眠コンテンツ提供/OAサービス	108百万円/年

※インパクト試算はプレゼンティーズムから労働生産性を算出するWLQ-J結果に、参加者人数と参加者平均年収を乗算することで算出。
なお、施策導入による睡眠改善習慣が1年間持続したものとしている。